

社会資本総合整備計画

成田駅周辺地区都市再生整備計画

平成 30 年 7 月 24 日

千葉県成田市

社会資本総合整備計画（都市再生整備計画事業）

平成30年7月24日

計画の名称	成田駅周辺地区都市再生整備計画				重点配分対象の該当
-------	-----------------	--	--	--	-----------

計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	千葉県成田市
-------	--------------------	------	--------

計画の目標	<p>【大目標】成田の歴史資源を大切に、観光と住環境が魅力的なまちづくり</p> <p>【小目標①】国際観光都市成田の表玄関として、魅力ある、おもてなしの心を大切に空間の創出を目指す。</p> <p>【小目標②】歩行者の利便性向上を図り、快適で質の高い都市空間の形成を目指す。</p> <p>【小目標③】門前町の歴史資源を大切に、住民にとって誇りや愛着が持てるまちなみ景観の形成を目指す。</p>
-------	--

計画の成果目標（定量的指標）	<table border="1"> <tr> <td>観光入込客数</td> <td>10,935千人</td> <td>⇒</td> <td>12,100千人</td> </tr> <tr> <td>駅前における歩行環境満足度</td> <td>14%</td> <td>⇒</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>地区への愛着度</td> <td>39%</td> <td>⇒</td> <td>50%</td> </tr> </table>	観光入込客数	10,935千人	⇒	12,100千人	駅前における歩行環境満足度	14%	⇒	75%	地区への愛着度	39%	⇒	50%
観光入込客数	10,935千人	⇒	12,100千人										
駅前における歩行環境満足度	14%	⇒	75%										
地区への愛着度	39%	⇒	50%										

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
	10,935千人	-	12,100千人	
	観光入込客数は、成田駅周辺地区内の1月から12月までの一年間の観光入込客数とする。			
	14%	-	75%	駅前における歩行環境満足度とは、JR成田駅と京成成田駅間を歩行により移動しやすいと感じている割合とする。（住民アンケートにより把握）
	39%	-	50%	地区への愛着度とは、地域に対して愛着や誇りを感じている割合とする。（住民アンケートにより把握）

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1181.5百万円	A	1181.5百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	〇%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	------	---	------	---	------	---------------------------	----

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
A-1	都市再生	一般	成田市	直接	-	市道並木町土屋線 外	工事延長 L=600m	成田市						1,181.5			
合計													1,181.5				

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	128.25	66.2	113.5	129.6	53
計画別流用 増△減額 (b)	15.417	0	0	0	△ 46
交付額 (c=a+b)	143.667	66.2	113.5	129.6	7
前年度からの繰越額 (d)	0	107.7	0	0	47.243
支払済額 (e)	35.967	173.9	113.5	82.357	52.133
翌年度繰越額 (f)	107.7	0	0	47.243	2.11
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	47.243	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	36.5%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由				合意形成に伴い、補償 交渉に不測 の日数を要 したため。	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本総合整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

なりた えき しゅうへん ちく とし さいせい せいび けいかく ちばけん なりたし
成田駅周辺地区都市再生整備計画（千葉県成田市）

(参考)年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
成田駅周辺地区都市再生整備計画	成田駅周辺地区	成田市	1181.5	414.3	242.1	219.3	141.3	164.5
計			1,181.5	414.3	242.1	219.3	141.3	164.5
関連社会資本整備事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
効果促進事業								
事業名	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計			1,181.5	414.3	242.1	219.3	141.3	164.5
累計進捗率 (%)				35.1%	55.6%	74.1%	86.1%	100.0%

都市再生整備計画

なりたえきしゅうへんちく
成田駅周辺地区

ちばけんなりたし
千葉県成田市

平成30年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	成田市	地区名	成田駅周辺地区	面積	133 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

- 【大目標】成田の歴史資源を大切にした、観光と住環境が魅力的なまちづくり
 【小目標①】国際観光都市成田の表玄関として、魅力ある、おもてなしの心を大切にした空間の創出を目指す。
 【小目標②】歩行者の利便性向上を図り、快適で質の高い都市空間の形成を目指す。
 【小目標③】門前町の歴史資源を大切にした、住民にとって誇りや愛着が持てるまちなみ景観の形成を目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■成田市および成田駅周辺地区の概要

成田市は、千葉県の北部に位置し、面積約214km²、人口約131,000人の都市である。成田国際空港を有するとともに、国際観光モデル地区の指定を受け、周辺地域と連携し観光資源の保存や宣伝、発展に努めている。当地区は、成田市の中心市街地に位置し、JR成田駅と京成成田駅が近接しており、両駅における乗車客数は合わせて一日平均約35,000人を数え、北総地域の交通結節点として重要な役割を担っている。また、駅の北側約1kmには、本市の観光の中心となる、成田山新勝寺が位置している。

■これまでのまちづくりの経緯

本地区では、地元住民からなる街づくり団体が設立され、官民協働により表参道の景観整備や歩道整備を行い、国際観光都市の表玄関としての顔づくりが進められており、上町地区（表参道）におけるまちなみ整備が国土交通省の都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞している。
 また、JR成田駅東口では、JR成田駅東口第二種市街地再開発事業や、それに伴う集合住宅の建設が進められているほか、京成成田駅東口周辺地区では、中心市街地における居住系の需要の高まりへ対応すべく、地区計画の変更の検討が進められる等、都市型居住への土地利用転換が進んでいる。

課題

- ・駅から表参道まで、安心して楽しく回遊できる歩行空間の形成が必要である。
- ・都市型居住への対応として、駅周辺の歩行者利便性の向上が必要である。
- ・地区内の住民が誇りや愛着を持てるまちづくりの推進が必要である。

将来ビジョン（中長期）

成田市新総合計画において、地域のまちづくり方針を以下のように定めている。

- ・中心市街地の整備（JR・京成成田駅前地区の計画的な整備、駅前広場における交通安全性の確保）
- ・来訪者や外国人が迷わず歩けるまちづくり（英語や韓国語、中国語等の外国語による案内表示やパンフレット等の配布により回遊しやすさの向上）

成田市都市計画マスタープランにおいて、地域のまちづくり方針を以下のように定めている。

- ・表参道周辺の歴史的まちなみを活かした景観形成や魅力ある参道づくりによる、風格ある地域づくりを進める。
- ・JR・京成成田駅周辺において、段差の解消や各種案内設備の設置などにより地域のバリアフリー化を進める。
- ・駅前再開発事業の促進や参道商店街などにおけるセットバックなどによる市街地のリニューアルを行う等、地域住民にとって暮らしやすい良好なまちなみ形成に努める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
観光入込客数	千人	成田駅周辺地区内の1月から12月までの観光入込客数	国際観光都市としての景観や雰囲気や創出することにより、近年の観光客の入り込み客数の減少傾向を抑制することを確認する。	10,935	H24年度	12,100	H30年度
駅前における歩行環境満足度	%	JR成田駅と京成成田駅間の歩行による移動がしやすいと感じている割合（住民アンケートによる）	駅前において、誰もが移動しやすい歩行環境が形成されていることを確認する。	14	H25年度	75	H30年度
地区への愛着度	%	地域に対する愛着や誇りを感じている割合（住民アンケートによる）	住みやすい生活環境を整え、また本地区ならではの歴史資源の整備を行うことで、地区に対する愛着や誇りが向上することを確認する。	39	H25年度	50	H30年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・【整備方針1: 国際観光都市成田の表玄関として、魅力ある、おもてなしの心を大切にした空間の創出を目指す。】 ・京成成田駅東口及びJR・京成成田駅中央口の整備により、表玄関口にふさわしい環境を整える。 ・表参道における景観整備及び歩道整備により、楽しく安全に回遊できる空間の創出する。 ・ベンチの設置により、ゆっくりと参道を楽しめる環境を整える。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路事業: 市道並木町土屋線歩道整備事業 地域生活基盤施設: 人工地盤整備事業 地域生活基盤施設: ポケットパーク整備事業 高質空間形成施設: ボラード石・インターロッキング設置事業 高質空間形成施設: 市道並木町土屋線石畳風舗装事業 高質空間形成施設: エレベーター・エスカレーター設置事業 高質空間形成施設: ベンチ・インターロッキング・装飾街路灯等設置事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動推進事業: 街づくり団体補助金
<ul style="list-style-type: none"> ・【整備方針2: 歩行者の利便性向上を図り、快適で質の高い都市空間の形成を目指す。】 ・駅前空間においてバリアフリー化を行い、安全で快適に生活できる環境を整える。 ・駅前広場の拡張を行い、利用者が安全に利用できる駅前空間の形成を目指す。 ・観光案内板の設置を行い、わかりやすい歩行環境の形成を目指す。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域生活基盤施設: 人工地盤整備事業 地域生活基盤施設: 観光案内看板設置事業 高質空間形成施設: エレベーター・エスカレーター設置事業 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> JR成田駅東口第二種市街地再開発事業
<ul style="list-style-type: none"> ・【整備方針3: 門前町の歴史資源を大切にしたい、住民にとって誇りや愛着が持てるまちなみ景観の形成を目指す。】 ・街づくり団体への支援を行い、表参道における景観整備や歩道整備の円滑化を図る。 ・地域資源を活かしたまちなみ整備により、住民の地域に対する愛着や誇りを向上させる。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路事業: 並木町土屋線歩道整備事業 高質空間形成施設: ボラード石・インターロッキング設置事業 高質空間形成施設: 市道並木町土屋線石畳風舗装事業 高質空間形成施設: ベンチ・インターロッキング・装飾街路灯等設置事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域創造支援事業: 伝統的建築物等修景整備補助事業 地域創造支援事業: ファサード整備補助事業 まちづくり活動推進事業: 街づくり団体補助金 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> JR成田駅東口第二種市街地再開発事業
<p>その他</p>	

成田駅周辺地区(千葉県成田市) 整備方針概要図

目標	【大目標】成田の歴史資源を大切に、観光と住環境が魅力的なまちづくり	代表的な指標	観光入込客数	千人/年	10,935 (平成24年度) → 12,100 (平成30年度)
	【小目標1】国際観光都市成田の表玄関として、魅力ある、おもてなしの心を大切に空間の創出を目指す。		駅前における歩行環境満足度	%	14 (平成25年度) → 75 (平成30年度)
	【小目標2】歩行者の利便性向上を図り、快適で質の高い都市空間の形成を目指す。		地区への愛着度	%	39 (平成25年度) → 50 (平成30年度)
	【小目標3】門前町の歴史資源を大切に、住民にとって誇りや愛着が持てるまちなみ景観の形成を目指す。				

